

備前市事務事業評価表

(平成19年度事業)

事業の概要		コード	02-01-01-03
事務事業名	私立保育園運営委託事業		根拠法令・要綱等
事業開始年度	S23-		児童福祉法他
大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	担当課(室)	こども課
中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	こども福祉係長 藤田 政宣
小項目 施策	子育て支援	電話	0869-64-1825

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	私立認可保育園
目的(何のために)	生涯にわたる人間形成の基礎が培われる乳幼児期の子どもを、就労等により家庭で保育できない保護者に代わって保育し、健康で豊かで人間性を持った子どもの育成に寄与する。
行政活動(どのような方法で)	関係法令等により規定された負担割合による国県市負担金を財源とした私立保育園運営委託料
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	入園希望者に対し待機児童数を無くすることで事業目的を達成させる。また、充足率が上昇することによって、単位当たりコストが下降し効率化が図れる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の実績					
	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
活動実績	年間平均入所者数	人	13	12	11
	定員数	人	20	20	20
	事業費	千円	21,682	17,239	17,267
	人件費	千円	2,410	532	150
	事業費計		24,092	17,771	17,417
	国県支出金		13,016	9,481	10,526
	受益者負担	千円	3,297	3,468	2,674
	一般財源		7,779	4,822	4,217
	必要人員	人	0.25	0.07	0.02
	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
年間平均入所者数(私立)	説明	私立保育所1園での1日当たりの園児措置数			
結果指標量	人	13	12	11	
対前年比	%	92.3%	91.7%		
活動コスト	円	24,091,650	17,770,885	17,417,200	
単位当たりコスト	円	1,853,204	1,480,907	1,583,382	
充足率(私立)	説明	年間平均入所者数を私立保育所1園の定員20人で除した割合			
結果指標量	%	65.0	65.0	55.0	
対前年比	%	-	100.0%	84.6%	
活動コスト	円				
単位当たりコスト	円				

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価 <A-E> C
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の意図する成果を達成するには、現在の行政活動以外に方法はない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	課題認識
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	関係法令で定められており、適正な算定が必要がある。
	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価 <A-E> C
効率性の評価	手段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	公立保育園のない地区に設置されている市内唯一の私立保育園である。市民サービスの面からはよいが、コスト削減の上からも運営に必要な園児数の確保、保育料の見直し等を考える必要がある。
	職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A-E> C
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	公立保育園のない地区に設置されている市内唯一の私立保育園である。市民サービスの面からはよいが、コスト削減の上からも運営に必要な園児数の確保、保育料の見直し等を考える必要がある。

平成20年度の状況		
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	説明
4月1日現在の園児数は、13人である。		
目標値	結果指標量 20人	結果指標量 100%
	成果指標量 0人	

総合評価		
国県市負担金を財源とした委託事業のため、今後も適正に算定し、事業を継続して行う必要がある。	評価区分 <A-E> C	

平成21年度以降の方向性		
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	保育料の改正(受益者負担増)	長期	市負担額が軽減される。

事業の成果			
成果指標名	待機児童数	式又は説明	保育園に入所を希望し、資格を有するにもかかわらず定員超等の理由で入所できない児童を生じさせないことで目的を達成する。
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	0人	0人	0人
対前年比			
到達目標値	0人	到達目標年度	毎年